

● 会報第14号の発行によせて ●

今回の作家紹介では、長年に渡り木版画の制作をされておられる川西祐三郎氏を取り上げました。作品を見ているとこちらまで楽しくなるその作風は私たちの心を常に魅了します。また、齋藤修氏に版画京都展実行委員会の企画出版物である『京都十景』について伺いました。それぞれ大変興味深い内容です。ごゆっくりとお読み下さい。

◆ *Yuzaburo Kawanishi*  
“ザルツブルグ”

H60×W45cm  
木版画  
1996



■ 作家紹介 川西 祐三郎

■ 特集 『京都十景』 京都から一新版画集出版 齋藤 修

■ 第79回版画展回想 有年 博行

■ 活動報告

■ 掲示板

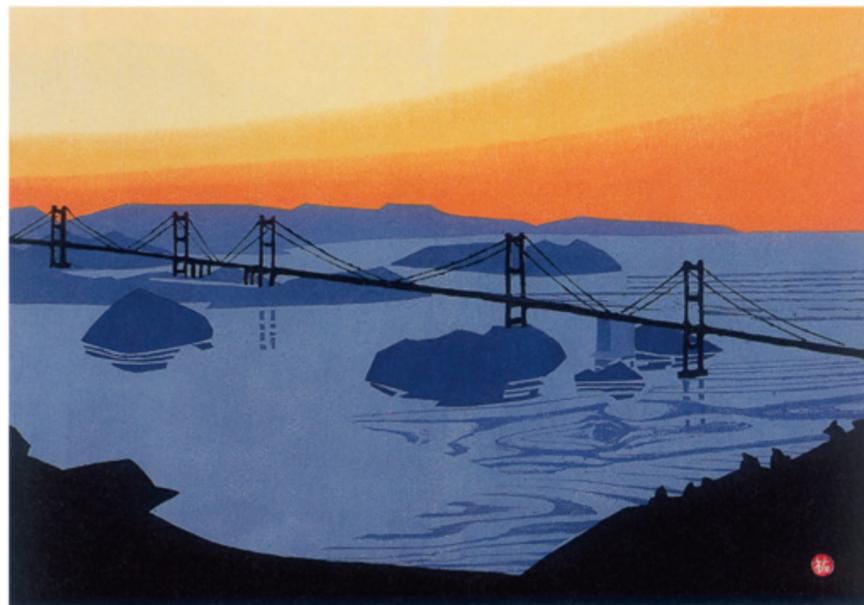
# 川西 祐三郎

【コレクション】  
 東京国立近代美術館  
 国立国際美術館  
 兵庫県立美術館  
 大阪府立現代美術センター  
 京都国立近代美術館  
 ホノルル美術館  
 神戸市立博物館  
 外務省作品買上

【略歴】  
 1923年に版画家 川西 英(1894-1965、版画家、画家)の三男として神戸に生まれる  
 1931年 8歳で父を師として木版画制作をはじめ  
 1942年 第11回日本版画協会展初入選以後毎回出品  
 第5回文部省美術展入選  
 1943年 第18回国画会展初入選以後毎回出品  
 日本版画協会会員推挙  
 1948年 国画会奨学賞を受賞  
 1949年 国画会会友推挙  
 日本美術家連盟に加入  
 1968年 ビストイア(伊)第2回国際版画ビエンナーレ展  
 1971年 国画会会員推挙  
 1978年 個展 東京銀座養清堂  
 1985年 神戸市文化賞受賞  
 1989年 「神戸100景」版画集 神戸新聞社より発刊  
 1995年 兵庫県文化賞受賞  
 2002年 日本版画協会名誉会員推挙  
 2008年 地域文化功労者文部科学大臣表彰



2008年10月13日 自宅にて撮影 刷りの作業



『しまなみ眺望』 木版／縦三三.五センチ × 横四八センチ／二〇〇七年

Q1…川西先生は長年に渡って木版画の制作に取り組みられています。その技法に至った経緯を教えてください。

父 川西 英が版画協会で三七才で会員推挙亡くなる七〇才まで所属していました。版画家の息子として生まれた私は子供心に親の真似がしたくて八才の時から父の横に机を並べて木版画を始めました。父は真剣に仕事をしている最中に隣に邪魔者が来るので機嫌が悪かったです。この時から木版画のみのスタートしたのが良かったが、父の作品の影響だけを受けたので、若い頃は周りの人から悪気もなく褒めるつもりで「英さんの作品とそっくりだ」と言われて悩みました。それが一九七五年から始めた「ヨーロッパシリーズ」で風景を一旦バラバラにして組み立て直すようになってから英さんと全く離れたと言われるようになりました。

Q2…ご自身の作品制作において、最も大切だと思ふことを教えてください。

作品の原画作りの時に意気込んで緊張するものですが、児童が無邪気に自由奔放に描いているように大人もあの心境で描けたらと何時も考えております。私の場合、風景の作品が多いのですが、見たままではなく、画面上で自分の好きなように組み立て直

す、そして気に入ったメインの物体は誇大に扱い、それ以外は思い切って省略する。更に画面を直線や曲線で区切って明暗を自由自在に配分して楽しく作り上げることです。画家の仕事は個人プレーで孤独なものですが、版画協会のような権威のある団体展に出品して、自分の作品を大勢の作品の中で見るのは何よりの勉強です。

Q3…川西先生にとって版画とは何ですか？

最初のところで申しあげたように、版画家の三男として生まれたので、木版画のみからスタートした。普通なら油絵や日本画を勉強してから途中で版画に転向するケースが多いのです。父も油絵から転向しています。私は幼い頃から風景でも版画的な省略表現で捉えて育ったのです。これは後に版画家として活躍した時にプラス要因になりました。併し小学校では図画の先生から「君の絵は濃淡の差が強く中間色がない」と叱られました。私にとって木版画以外の仕事は無いわけです。スタートが早かったので、日本版画協会は二〇才で会員に推挙されて以来八七才の今日まで現役です。



『ベニス詩情』 木版／縦六五センチ × 横四五センチ 一九九八年

Q4…東日本大震災以降、私たちの価値観や考え方は確実に変わりました。作家として、今後何を考えて作品をつくるべきだと考えておられますか？

私は神戸生まれの神戸育ちです。平成七年に阪神大震災を経験しました。戦時中の米軍の空爆から復興した街は再び廃墟と化しました。地元ではただ然として復興は何時のことかと思われました。そんな中、被災された方の心を癒して励まそうと先頭に

立ったのは文化人でした。音楽や絵画などが人々を気分転換して勇気づけ大切な役割を果たすことを、あの時初めて認識しました。東日本大震災では阪神の時より遥かに被害が大きいため、尚更文化人の奮闘が期待されます。版画家も各個人は微力でも制作を通じて現地の方の奮闘を盛りたてて、一日も早い復興をお祈りするばかりです。自分の仕事を一生懸命励むことがせめてもの貢献に繋がるよう、作品のチャリティーなどに積極的に参加します。

Q5…これからの川西先生の展望と若い世代に一言お願いします。

八才から今までに制作した作品は二〇〇点を超えました。幼時から作品台帳を管理していたのも親の真似をしたのが良かったのです。  
 ①「ヨーロッパシリーズ」と②日本らしい風景、所謂「ふるさとシリーズ」③生まれ育った「神戸シリーズ」を中心にこれからも制作を続けます。作品制作では、作品に自分が創作した他人とは異なる個性が表現されていることが何よりも大切です。団体展で並んだ時にサインが無くても誰の作品か一目で判別されること、制作に当たって自分の好きな形や色彩を自由に組み合わせる楽しみことです。これは必ず鑑賞される方に伝わります。



『港都瑞光』 木版／縦三三.五センチ × 横四八センチ／一九九六年

# 版画集「京都十景」



田島 征彦



山本 桂右

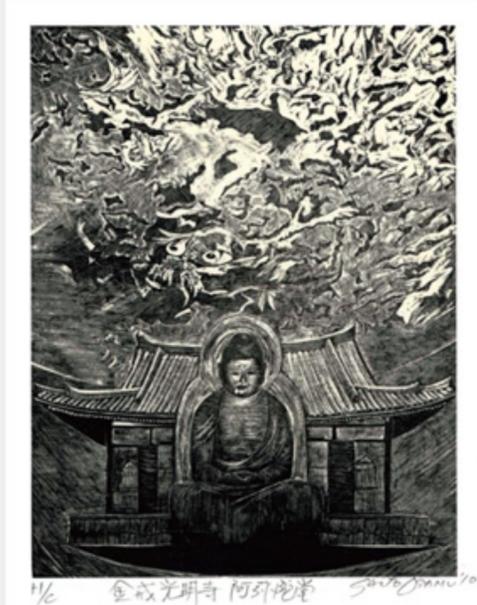
## Dix Paysages de Kyoto 2010

京都から

—新版画集出版—

齋藤 修

Q1:『京都十景』を始めたきっかけは何ですか?  
 第三回目のタイ国との交流展終了後の運営委員会で今後の交流展費用捻出に、版画京都展委員会の負担を少しでも軽減するため、版画集発行のアイデアが出され各委員から色々な意見を聞き京都の風景をテーマにした版画集に決まり、二年に一度の発行で十点十セットで最終的に「京都百景」を目指すことになりました。



齋藤 修

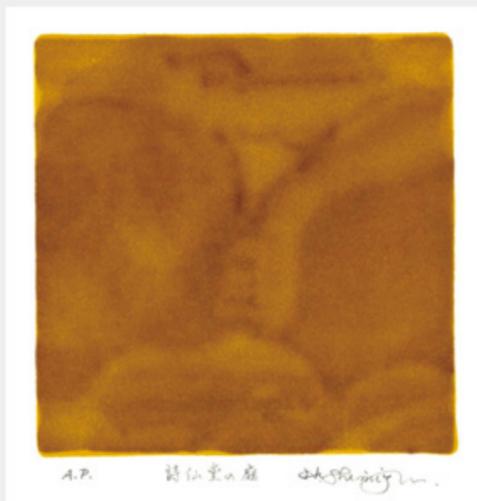


有年 博行

Q2:『京都十景』は京都の風景をモチーフとしていますが、京都の町並みの魅力は何ですか?  
 京都をテーマにした版画作品は、浮世絵師広重の作品から現代の作家まで各種制作されていますがほとんどの作品は、一人の作家が制作されたものであり我々が制作していく版画集は、各種技法作家の制作された十人十様の十点十セットで構成されています。京都の魅力は、皆さんがご存知のとうりと考えています。



平木 美鶴



清水 博文

Q3:オフセット印刷による出版物と版画作品による出版物の違いは何ですか?  
 版画作品は、エディションがどうあれ一点一点がオリジナル作品です。それが印刷物と違うところです。E.D.:三〇、A.P.:一〇、H.C.:一〇、の制作です。  
 Q4:『京都十景』の見どころや面白いと感じる所は何ですか?  
 版画技法の違う作家の表現がいろんな意味で楽しみがあると考えています。また知らなかった京都の風景を教えてください。



柴田 真由美



佐久間 嘉明

### 版画集『京都十景2010』

- ◆企画・発行  
版画京都展実行委員会
- ◆頒布価格:70,000円(税込)
- ◆限定部数:30部  
(すべて作家のサイン入り)
- ◆シートサイズ:A4  
(29.7×21cm)
- ◆装本:めもと箱ケース入り  
(32.4×23.0×2.8cm)
- ◆お問い合わせ  
齋藤 修  
〒622-0232 京都府船井郡  
丹波町曾根清長 60-4  
TEL/FAX: 0771-82-2376



黒崎 彰

現代版画家の目を通してみる  
新しい京都のイメージ



坂爪 厚生

Q5:今後の展開はどのようにお考えですか?  
 現在、第三集まで発行してきました。三十箇所の作品です。後、七十箇所の作品が制作されます。どんな表現の作品が出てくるか楽しみにしてください。  
 作家構成は、日本版画協会会員であることであることが基本です。しかし、若干名を入れ替えて構成していきます。準会員、一般出品作家も考慮していくことも考えています。会員諸氏のご協力を御願います。

## ○ 第79回版画展回想 有年 博行 ○

京都で開催される日本版画協会版画展の2年目にあたる、第79回展が無事終わり関係者一同はホットされているとおもいます。ここへ至るまでの準備は大変なことと思慰労申し上げます。

とりわけ版画京都展実行委員会のメンバーは縁の下の力持ち的役割として活躍されたこと、ご苦労様でした。筆者も展示係として仕事をしましたが、昨年よりも割合スムーズに事が進んで行ったと思うのは錯覚でしょうか？やはり本部との連携がうまくいったことの結果ではないでしょうか。



さて本題に移り展覧会全体の感想ですが、1Fではフェルメールを中心としたオランダ絵画展が開催されている中、入場者は如何ほどだったのか気になるところです。版画展となると版画京都展でも数があまり伸びない現状があり、世間の意識の現状を思い知る機会でもあります。それでも日本を代表する版画協会展を京都で開催したことの意義は非常に大きいと言えます。今後の西日本での版画芸術の発展に大きな足跡を残したといえます。続いて作品を見ての感想ですが、ベテラン勢の作品はさすがに安定感のある、見てたえたつぷりの感があります。年齢を感じさせないアグレッシブで冒険心のある作品や、版画の可能性を追求した作品など、大変勉強になります。版画界の層の厚さと頼もしさを感じさせます。



歩を進めて行くと、いわゆる中堅層の作品となりますが、ここは期待が持てる作品と、いまいかなあと思う作品との力の差が感じられて、とても面白い。偏見で言わせていただくと、大学の版画科カラーが出てたりして、この人これからどう発展していくのかなあと良きにも悪きにも楽しみになります。

さて最後は新人ですが、さすがに技術的にはまだまだ稚拙な作品が多く見受けられますが、何といっても若さがあります。粗削りながら可能性を秘めた作品も多くあり、今後の成長が楽しみです。特に新人賞など各賞を受賞した作品はさすがに実力派揃いです。これからの版画協会を背負って立つ人たちはです。大いに期待するところです。

私もまだまだこれからだと奮い立たせてもらい、楽しい展覧会でした。来年は上野で、開催時期も変わりますが、ますます版画協会が発展していくことを願い文責を果たします。ご精読ありがとうございました。

(写真撮影/搬入風景：有年博行)

## 版画京都展実行委員会 活動報告

展覧会名：2011 Residency Program Asia Art Project

日時：2011年6月から8月の3ヶ月間

会場：Alternative Space MARU

会場住所：5-7 Sarim-dong Changwon-si Gyeongsangnam-do Korea

出品者：三宅由里子※当委員会からの出品者のみ記載

初めて私が版画京都展実行委員会に所属させて頂いた時に、JARFO という京都藝際交流会で新鋭展というグループ展が開催されました。その時、出品した作品が選抜され、JARFO から韓国での展示の機会を与えて頂きました。それがきっかけとなり、前回、韓国で展示をさせて頂いた MARU という社団法人のもとでレジデンスに参加させて頂く事となりました。レジデンスは、普段の生活と異なる人達や作品と接する機会です。そういった人達や作品と出会うことで、自分の価値観が大きく変わったり、新しい考え方を持つことができたり、人としての成長ができる機会でもあると、私は考えています。このレジデンスで、人としての交流を深め、作品作りのみならず、自分自身の大きな成長と、発見に繋がったことをとても嬉しく思っています。(文：写真撮影/三宅由里子)



展覧会名：第3回ポレポレ展

日時：2011年9月27日(火)～10月9日(日)

会場：JARFO

会場住所：〒605-0023 京都市東山区三条通東大路東入今小路町81

出品者：有年博行、片岡れいこ、黒崎彰、坂爪厚生、佐久間嘉明、ツツミアスカ、二階武宏、平木美鶴、山本桂右(50音順)

準会員と会員で構成されたポレポレ展は、どの作品も完成度が高く、展覧会全体がまとまった雰囲気になっているという感想が多かったです。また、今回は木版を使用している作家が5名いましたが、作品の印象が重なることなく、興味を持って見て下さる方が多くおられました。お忙しい中、たくさんの方にご来場頂きありがとうございました。

(写真撮影：左/有年博行、右：文/ツツミアスカ)



## 掲示板

会報にお寄せいただいた版画京都展実行委員会メンバーの展覧会情報です。詳細は会場へお問い合わせください。

### ●伊藤尚子

<WORKS THROUGH URUSHI II >

会期：2012年3月10日～3月23日

場所：Medialia Gallery 335 West 38th street, 4th floor, New York, NY 10018-2916 U.S.A.

TEL：01-212-564-6318

### ●岩崎咲子・本岡千尋

<風景版画展>

会期：2012年3月27日～4月1日

場所：ギャラリー恵風 〒606-8392

京都市左京区丸太町通東大路東入ル南側

TEL：075-771-1011

### ●三浦麻衣・本岡千尋

<京都造形芸術大学版画工房/院生・4年生・教員・スタッフ/30×30の窓>

会期：2012年3月6日～3月11日

場所：ギャラリー恵風 〒606-8392

京都市左京区丸太町通東大路東入ル南側

TEL：075-771-1011

### ●羽田多栄子

<羽田多栄子銅版画展>

会期：2012年5月31日～6月12日

場所：ギャラリーNOB画廊名 〒569-0803

高槻市高槻町16-16 ヤーズマルイビル3階

TEL：072-685-0159

### ●ツツミアスカ

<第79回版画展受賞者展>

会期：2012年1月30日～2月4日

場所：シロタ画廊 〒104-0061

東京都中央区銀座7-10-8

TEL：03-3572-7971

<個展 “in the forest” >

会期：2012年2月20日～3月3日

場所：十一月画廊 〒104-0061

東京都中央区銀座7-11-11

長谷川ビル3F

TEL：03-3289-8880

## 編集後記

今回の会報から、担当メンバーが川端さんから竹本さんに代わりました。新体制の会報になり皆さまにご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、どうぞ宜しくお願い申し上げます。さて、私の小庭ですがこの秋にハーブ苗を6種類ほど植えてみました。来年の春までどう生長するのか今から楽しみです。

会報担当：ツツミアスカ(編集)、三上景子、竹本千明 発行：版画京都展実行委員会 問い合わせ先(事務局)：075-956-6910

